



事例紹介

case study

地域活性化 奨励賞
鹿沼市



鹿沼市のテレワーク推進 に関する取組み

鹿沼市経済部産業誘致推進室



鹿沼市ってどんな街？



- 面積：490.64平方キロメートル
(県内3番目) ※約7割は山林
- 人口：約9万4千人
(県内7番目)
- 東京から約100km
- 50万の人口を抱える県都**宇都宮市**
国際観光都市の**日光市**などに隣接
- 自然環境**豊かな景観と
都市機能とのバランスのとれた都市



鹿沼市の課題・背景



- ・全国的な人口減少が進む中、**若年層の転出、空き家・空き店舗等の増加懸念**
- ・雇用機会の拡大、感染症やライフスタイルの変化に応じた**働く環境の整備**
- ・**転出者の抑制、Uターン就職者の増加へ**

【関連施策：鹿沼市第8次総合計画・実施計画】

- ・シティープロモーション・移住定住の戦略的推進
- ・雇用の創出と働く環境づくり
- ・持続可能で暮らしやすい都市空間の形成

地方創生テレワークの推進（国の動向）

- 首都圏に居ながらの単なる「テレワーク」や、転職を前提とする「移住」の推進に留まらない、地方におけるサテライトオフィスでの勤務など地方創生に資するテレワーク（地方創生テレワーク）を、国としても推進し、東京圏への一極集中是正、地方分散型の活力ある地域社会の実現を図る。



鹿沼市での取組み内容

- ①鹿沼市シェアオフィス等整備事業補助金の創設
(R2～R3年度)
- ②既存観光施設のコワーキングスペース化

鹿沼市シェアオフィス等整備事業補助金の創設

新型コロナウイルス感染症の影響により、テレワークの導入が大幅に進み、「新しい生活様式」や「新しい働き方」が提唱されています。

鹿沼市にかかわる皆様の**多様な働き方や柔軟なライフスタイルの実現を後押しし、新たなビジネス及び雇用の創出に繋げるため、シェアオフィス等（シェアオフィス、コワーキングスペース、サテライトオフィス）**の整備に要する経費の一部を支援

対象者	<ul style="list-style-type: none">●市内の空き物件を購入又は賃借し、改修してシェアオフィス等を開設する企業等●市内の空き物件の所有者で、当該物件をシェアオフィス等として提供するために改修を行う方
対象経費	<ul style="list-style-type: none">●建物改修工事費（内装、外装、給排水、電気、ガス、空調、トイレ等の設備の改修工事、防水工事等）●設計等委託料（改修に係る設計・監理業務の委託に係る経費）●環境整備費（通信環境の整備に係る経費）
補助額	<ul style="list-style-type: none">●補助対象経費（税込）の1/2（1,000円未満の端数は切捨て）1つの補助事業につき最大100万円
条件	<ul style="list-style-type: none">●3年以上継続してシェアオフィス等として維持、運営される見込みがあること●シェアオフィス等に関する市の広報活動に協力すること●市税に滞納がないこと 等

制度利用実績（コワーキングスペース）

ちいさな複合施設 あむ



- ・ 空き店舗をリノベーション
- ・ コワーキングスペースやシェアキッチンを併設
- ・ コンパクトな複合施設へ

シェアスペースヨリドコロ

- ・ 古民家をリノベーションしコワーキングスペースとしてオープン
- ・ 学習塾併設の多世代が集まる地域の拠点



制度利用実績（サテライトオフィス）

株式会社farmo（スマート農業関連企業）



- ・ 栃木県宇都宮市本社の企業が鹿沼市の中山間地域の**廃校を利用しサテライトオフィスを設置**
- ・ サテライトオフィスを拠点に鹿沼市の豊かな田園を利用した**自社製品の開発、実証実験のフィールドの近接性、テレワークの実施により効率的な事業展開を実現**

既存観光施設のワーキングスペース化



《施設概要》

名称：屋台のまち中央公園内
掬翠園（きくすいえん）

所在：鹿沼市銀座一丁目

敷地面積：約1,600㎡

建屋：2棟



- ・ユネスコ無形文化遺産登録「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」に使用する屋台展示館
- ・古き良き日本家屋と枯山水が特徴の日本庭園
- ・新緑や紅葉など四季折々の景色が楽しめる

既存観光施設の coworking スペース化

・ 掬翠園整備 目的&コンセプト

《目的・効果》

- (1) 新型コロナ感染症をきっかけに、BCP対策等で地方へのサテライトオフィス設置を検討されている企業又はその従業員が、**お試しで鹿沼市で勤務する機会を提供し**、進出を後押しすることで、**魅力的な就職先の誘致や地元雇用増に繋げる**。
- (2) テレワーク体験を通じて、**まずは本市を知り**、ファンになってもらい、観光以上移住未満と定義されている**関係人口の創出**を促し、継続的な関係性を保つことで、**移住・定住へ向けた段階的な体験を提供する**。
- (3) 近隣で検討されている中心市街地活性化事業や既存の coworking スペースと連携して、イベント等の際に官民連携を図り、**オープンイノベーション創出の流れを構築し、地域経済の活性化に寄与する**。

< 市民/事業者の利用シーン >

- ・ 地域の住民が集まれる場所
(土日祝日：習い事のスクールとして利用)
- ・ お祭りや地域のイベントの際に開放
地域住民やボランティアのための集会所としての機能
- ・ スキルアップのためのセミナーや交流イベントなどに利用
- ・ 日本の文化である茶道・華道が学べる建屋
セミナールームとして利用季節の行事やレンタルスペースとして利用
- ・ コロナ禍でも安心してご利用頂ける“働く場”の提供

< 市外企業の利用シーン >

- ・ 都市部からのワーカーのために coworking 施設として利用者を募る
- ・ 四季とともに移ろう庭園の景色が楽しめるため、1度のみならず定期的に利用したくなる場所へ
(リピート利用)
- ・ 古民家独特の雰囲気味わいながらの coworking
普段とは違う新しい発想が生まれる空間
- ・ 掬翠園をきっかけに市外からの利用者に向けた
鹿沼市の認知度アップを目指す
(市外利用者と地域住民の交流など)

既存観光施設の coworkingスペース化

- 掬翠園 令和5年4月1日~ **RENEWAL OPEN!!**



《 利用料金 》

coworking利用

◎ 市民 ◎

1時間につき、1席当たり250円

◎ 市民以外 ◎

1時間につき、1席当たり300円

※貸し切り利用も可（別料金）

PRイベントの開催（テレワーク体験会）



参加者：市内外の企業
（製造業・物流業・
ホテル業・団体職員等）
個人事業主

開催日：令和5年4月19日

内 容：**掬翠園でのテレワーク体験会**
講師を招いてテレワークや
今話題の生成型AIに関する
セミナーを開催

参加者の声 ▲

- ・テレワークを行うための**設備の充実度や雰囲気の良いさに高評価を得た一方、日本庭園や建屋そのものが持つ他にはない魅力をより強調してPR・発信していくことが重要**というお声をいただき、今後の運営改善の材料へ

成果と展望

《 取組み内容 》

- ・ 空き家・空き店舗を活用したコワーキングスペースの整備支援
- ・ サテライトオフィスの誘致と整備支援
- ・ 既存観光施設のコワーキングスペース化

《 成 果 》

- ・ テレワーク環境整備、空き家等の利活用促進、テレワーク推進・BCP対応・地方移転を検討する企業の受け皿の整備を支援
- ・ サテライトオフィス設置を支援し、遊休公共施設の利活用と事業を支援
- ・ 本市の抱える複数の課題にアプローチし、課題解消に向けて前進した

今後の展望



- ・ **移住定住・観光・DX・企業誘致等の各施策と連携し、お試し利用から鹿沼市で働くイメージを持ってもらい、認知度向上・関係人口の創出・移住定住促進の流れを生み出す**
- ・ 連絡協議会設置などにより**公営・民営両方の施設の連携を強化し、市内全域で利用者の増加を目指す**



『鹿沼市を魅力的な働く場として確立する』



市の特産品の一つ

いちごが有名!!

鹿沼市の魅力を発信しています!!



きくすいえん
掬翠園
紹介動画

鹿沼市公式
ホームページ

デジタルスタイルかぬま



【この動画に関するお問い合わせ先】

鹿沼市役所 経済部産業誘致推進室

TEL : 0289-63-2266

E-Mail : sangyosuishin@city.kanuma.lg.jp